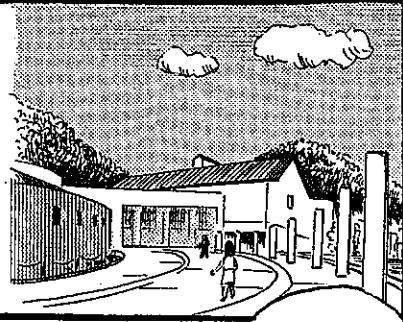


公文書館機能

長野県立歴史館は、歴史博物館であると同時に、長野県の歴史公文書などを収集・整理・保存し、利用してもらうという「公文書館機能」を持っています。



公文書って読むんです！

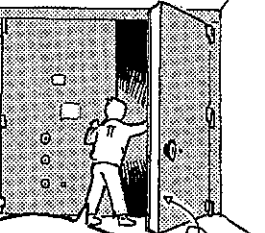
くもんしよ？

長野県立歴史館にはどんな公文書などがあるんですか？

公文書などは、温湿度管理された「行政文書書庫」と「古文書書庫」の2つの書庫に主に収められています

書庫にはどのぐらいの数があるんですか？

現在、公文書は10万点、古文書は30万点あって、どんどん増えています



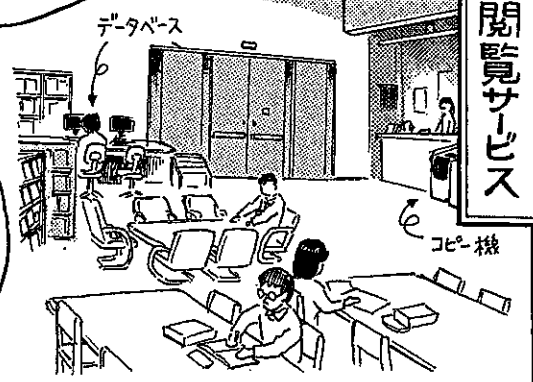
書庫の表トビラの厚みは18センチ、銀行の金庫みたいでしょ文化財が入っているから

その中でも特に幕末から昭和21年までの公文書など1万7833点は、「長野県行政文書」として長野県宝（県指定重要文化財）になっています

収蔵品には、戦禍をまぬがれた戦前の貴重な公文書もあるんですよ！

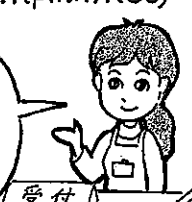
県の宝、どんなものがあるんですか？

例えば、長野県は明治維新で新政府ができ、県としての形が決まるまでの数年間、色々な「県」が存在していたんですが、そんな話を聞いたことがありませんか？



ホームページのナビゲーション、「書籍・史資料」中の「収蔵史資料検索」から、ご希望の史資料をお探しいただけます。閲覧申請フォームの使用や、歴史館の閲覧室の受付で「閲覧のお申し込みができます。（HPアドレス＝www.npmh.net）」

図書館の複写（コピー・有料）や、史資料の写真撮りの申し込みもできますよ～♪

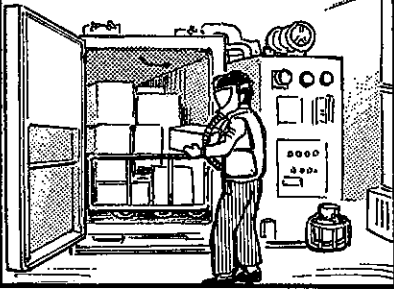


※フラッシュ禁止

長野県（信濃国）に関係する、中世の文書などもあるし、近現代の長野県議会で決まったことや、実施されたこと、地方自治体の報告などといった書類も大切に収蔵されています

へえ！一般の図書館とはちよっと違うんですね！

公文書などは書庫で保管される前に、害虫駆除・防カビ等殺菌のため、専用のガスを使う減圧式燻蒸（くんじょう）装置で燻蒸しています



長野県立歴史館は、県庁や各現世機関で作成された行政文書類について県民共有の財産として残し、公開してゆくことを目的に、「公文書館機能」を備え設置（平成6年）されました。これらの文書群が次の世代に引き継がれることで、開かれた行政、新たな地域文化の創造に資することになるのです。

なんかスゴイや、県の歴史の証拠を残してるんだね。

県宝には、これらの県で残された貴重な行政文書も含まれています

ボクも申し込んで原本を見させてもらおう